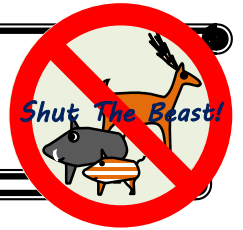


農地等を荒らす害獣を特定する方法

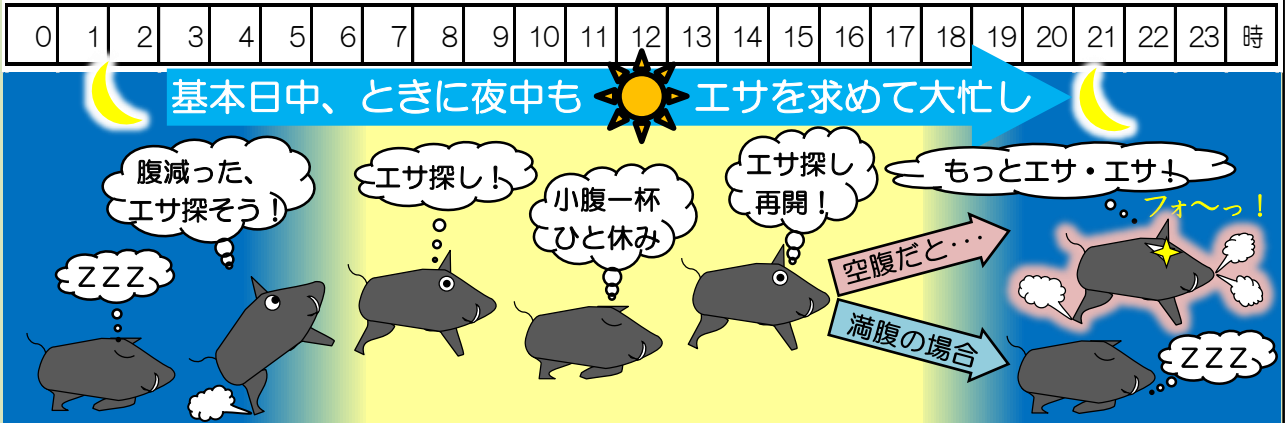
(敵を知ってから対策を講じましょう!)



1. なぜ見えにくい? 害獣の生態

1) 害獣の生活サイクル ~エサ探し最優先、腹さえ減れば昼夜問わず大忙し~

(1) イノシシ



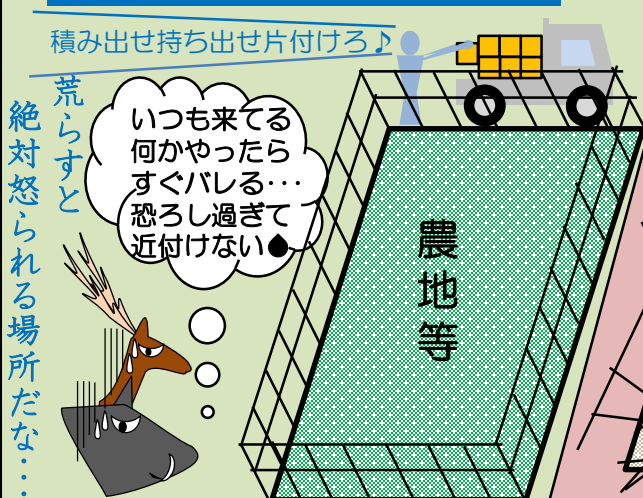
(2) シカ



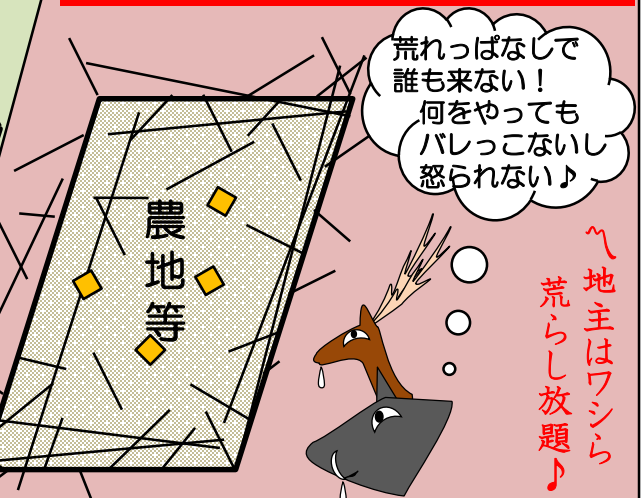
※繁殖期以外「若い雄」と「雌と子鹿」の群れは別行動 (単独行動は最も強い雄だけ)

2) 害獣の行動原則~管理不十分な農地、耕作放棄地等から荒らし始めます!~

(1) 管理の行き届いている農地等



(2) 管理不十分な農地、耕作放棄地等



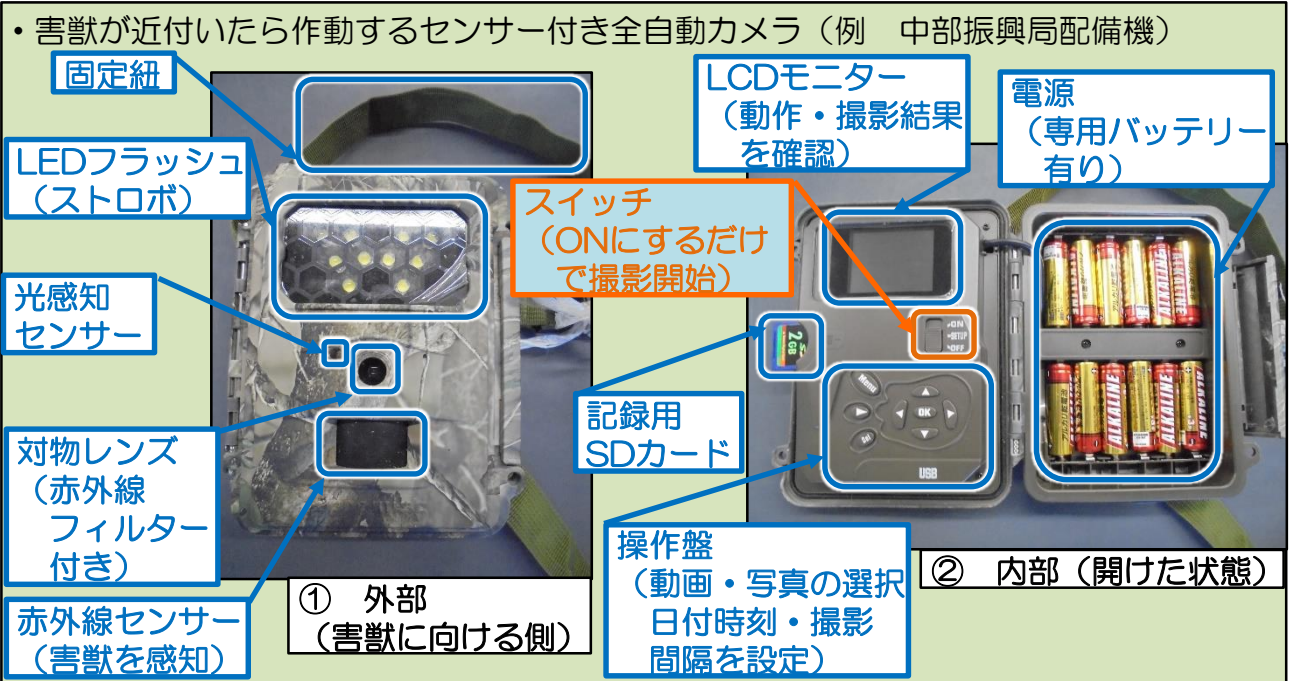
ポイント

- ・「害獣は夜行性で昼間は出て来ないものだ」という先入観が害獣の活動を見落とす原因となっています。腹が減れば昼夜お構いなしに荒らし回ります。
- ・害獣は私たちが頻繁に出入りし管理の行き届いている農地等をわざわざ荒らしたがりません。荒らし始めるのは管理が不十分な農地、耕作放棄地等私たちの気配を感じにくい場所で、気付かない内に被害を拡大させます。

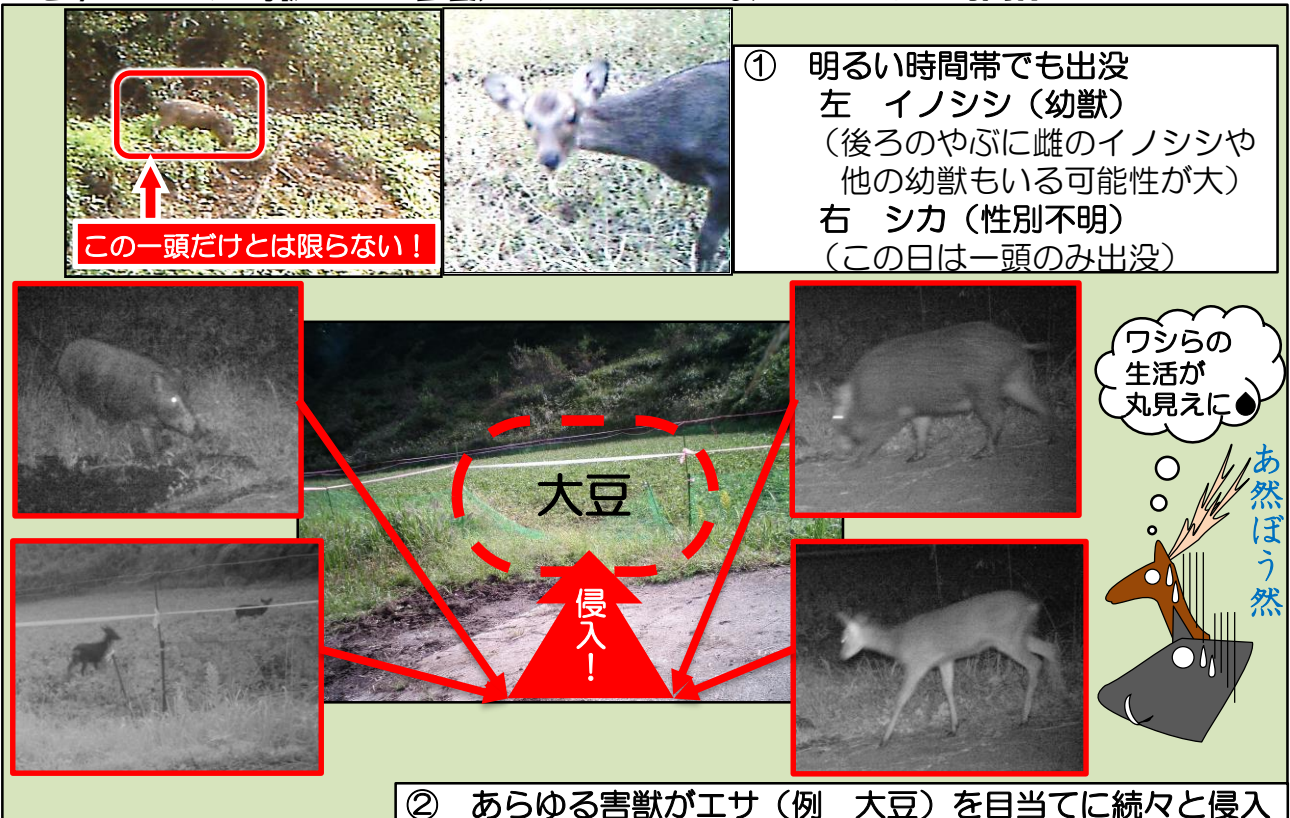
害獣を特定する方法は裏面に

2. 見えにくい害獣は「撮って」確認!

1) 害獣を撮る機材 ～動画も写真もこれ一台で逃さず記録!～



2) カメラに撮られた害獣たち ～エサを食べるため24時間休みなし～



ポイント

- ・誤解を避けるため、設置場所には「獣害撮影中」と明記しましょう。またカメラの取扱いは説明書に従いましょう。
- ・農地等を観察し、足跡等の痕跡を確認し設置しましょう。
- ・立ち木や防護柵の柱に設置すれば気付かれにくくなります。カメラを被害を受ける農地等と、害獣が隠れるやぶ方向に1台ずつ設置すると確実に撮れます (被害が多い場合推奨)。

迫る、更なる脅威!



お問合せ先：大分県中部振興局

農業被害対策

生産流通部 (水田畑地、園芸、畜産) 電話 (代表) 097-506-5796

狩猟免許・林業被害対策 農山漁村振興部森林管理班

電話 (直通) 097-506-5749